

お元気ですか

つかじさちの

第914号

日本共産党高知県議会活動報告ニュース

2019年5月19日発行

電話 088-823-9524 (議会控室)

088-843-9281 (自宅)

フレッシュ便

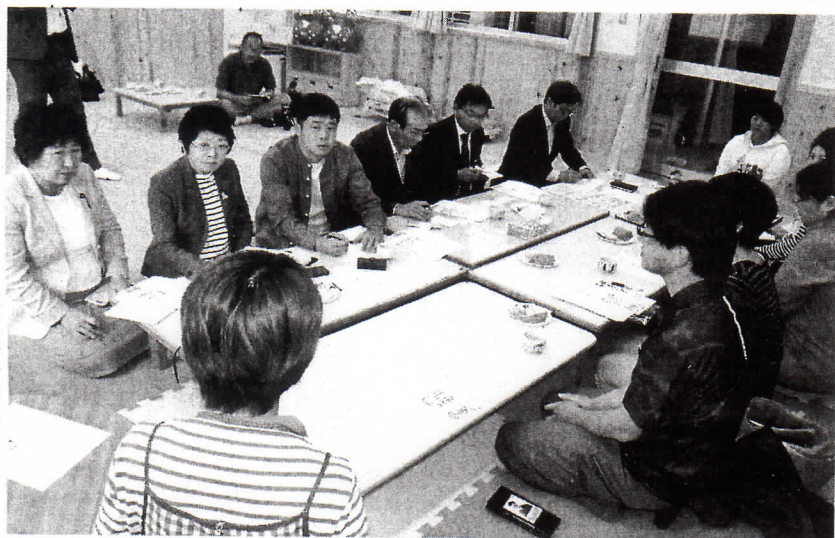


## 米軍機低空飛行問題で懇談

## 「身の危険感じる騒音」

党高知県議団・松本 参院候補 本山町を調査

日本共産党高知県議団と松本けんじ参院徳島・高知選挙区候補らは8日、米軍機の低空飛行問題で本山町に調査に入りました。



同町は米軍機の低空飛行訓練ルート「オレインシルト」の直下に位置しています。

町によると、4月11日に米軍の戦闘機2機が午後0時47分、同0時52分、同1時の計3回、中心街の上空を超低空で飛行。町役場の騒音計ではいずれも100デシベルを超え、住民から「身の危険を感じるほどの騒音だった」との声が寄せられました。地元紙によると、最後の飛行の約40分後に、同じ空域を高知医療センターのドクターヘリが飛行しました。

保育士や保護者(右列)と懇談する松本氏(左列)と県議団。8日、高知県本山町

一行が町役場で懇談した細川博司町長は、米軍機の低空飛行訓練は安心、安全の生活環境を乱すと厳しく批判。防衛省が地方自治体に事前に飛行ルートなどの情報を知らせないことは「不都合の極み」とのべ、ドクターヘリの安全な運行への対応を求めました。

本山保育所では大西利恵所長(58)らから話を聞きました。11日は昼寝の時間に戦闘機が真上を飛び、保育士は子どもたちが爆音にびっくりして跳び起きた。「怖い」と泣き出したりしたと語りました。

保護者会の田岡優会長(43)は「私自身、危ないと感じた。事故が起きてからでは取り返しがつかない」。3歳の長男を通わせる田岡友香さん(44)は「なりませんでした」。

「オレインシルト」の廃止、低空飛行訓練の中止に関する要望書を尾崎知事に提出(5月15日) 郷土の軍事化に反対する県連絡会と共同で頑張ります。

なるがも日記 No. 912

米田の水路では、水車がまわり、蛙の声もにぎやかな季節となりました。

選挙前から、おなかの調子が思わしくなく、用いさうて大腸の検査に行ってきた。検査の結果、どこにも異常なく、血球、尿検査、心電図、肺のレントゲンも、バリウム「益々複雑」って、先生が「エール」